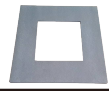


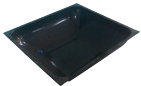
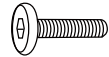


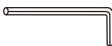


組立説明書

部品セット内容

MA-FIRE PIT TABLE MA-ファイヤーピットテーブル

部品番号	部品名	部品図	数量
①	天板		1
②	脚		2
③	センターコネクタ		4
④	受け皿		1

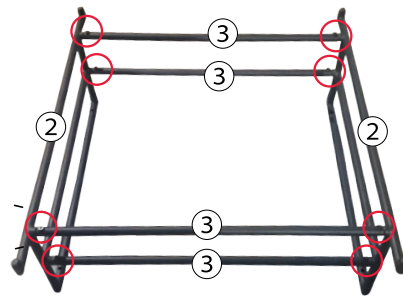
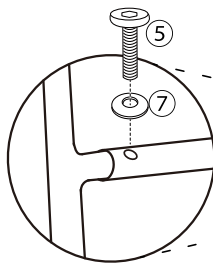
部品番号	部品名	部品図	数量
⑤	六角穴付低頭ボルト M6×15		8
⑥	六角穴付低頭ボルト M6×30		4
⑦	ワッシャー d6.5×13×1.0		12
⑧	六角レンチ(4mm)		1

⚠️ 組み立てる前に、全ての部品が揃っていることを確認してください。ボルト止めは、全て仮止めの状態で行い組み上がってから全体のバランスを確認して、しっかり締め付けてください。ボルトの締め付け忘れに注意してください。組み立てはカーペットなど敷物の上で行ってください。

⚠️ 天板は大変重く危険なため、運搬・組み立て作業は必ず2人以上で行ってください。

ステップ 1

必要部品：②、③、⑤、⑦

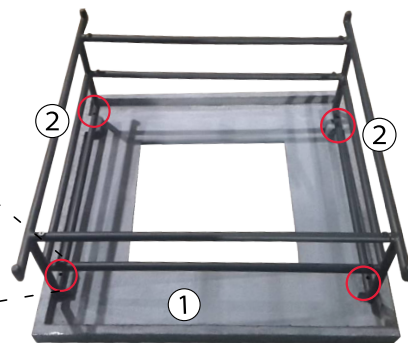
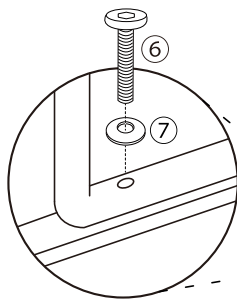


※ボルト止めは全て仮止めの状態で行ってください。

ステップ 2

必要部品：①、②、⑥、⑦

天板(①)を裏返し、ステップ1で組み立てたものをボルトM6×30(⑥)とワッシャー(⑦)で取り付けます。ボルト止めは全て仮止めの状態で行った後、全体のバランスを確認してしっかり締め付けてください。



ステップ 3

必要部品：④

脚のアジャスターでガタツキの調整ができます。



警告

- ・着火剤としてガソリン、灯油、ガス、アルコールなどはご使用にならないでください。
- ・燃料には薪または炭をご使用ください。また、燃料の入れすぎには十分ご注意ください。火が高く上がり危険です。
- ・火の粉や灰が飛ぶことがあるため、着火後には火に顔などを近づけないでください。燃えやすいものを近くに置くこともお止めください。
- ・やけどの恐れがあるため、受け皿には手を触れないようにしてください。
また、焚き火中は絶対に脚をテーブルの下に入れてください。
- ・焚き火は必ず屋外で行ってください。屋内ではご使用いただけません。
- ・焚き火を行う際はお子様やペットを近くで遊ばせないでください。
- ・風向きによってはテーブルが熱くなったり、灰が飛ぶ可能性がございますのでご注意ください。
また、風の強い日は危険ですので焚き火を行わないでください。
- ・着火後はテーブルの移動を行わないでください。
- ・ご使用後は、受け皿が完全に冷めたのを確認してから片付けを行ってください。また、片付けは革手袋等を着用して行ってください。
- ・消火のために水をかけると、急激な温度変化により受け皿が変形することがあります。
片付けは火が完全に燃え尽きてから行ってください。

ご注意

- ・必ず平らな場所にて使用してください。傾斜のある場所での使用はおやめください。
- ・組み立て前に全ての部品がそろっていることを確認してください。
- ・適切に組み立て頂くためには、全ての手順において必要なボルトが対応の図と一致することを確認してください。
- ・組み立ての際には、必ず敷物などを敷き、床面を養生した上で行ってください。床面と本体のキズ防止になります。
- ・組み立ての際には、周囲に組み立ての障害になるものがないことを確認してください。
- ・ねじ込みは仮止めで行い、組み上がってから全体のバランスを確認して、しっかり締め付けてください。
- ・お子様が小さな部品などを飲み込まないようにしてください。またお子様をご使用の際には、保護者の監督のもと一緒にご使用ください。
- ・商品の可動部等に指や手等を挟まないようご注意ください。ケガをする恐れがあります。
- ・炎天下でのご使用は、製品が熱くなる場合があります。素肌に触れるとヤケドの恐れがあります。
- ・長時間の直射日光や熱は避けてください。使用時以外は外部に出したまま（雨ざらし・陽ざらし）にしないで室内（湿気・紫外線等の影響のない場所）にしまってください。変形・変色・変質及びサビの発生原因となります。
- ・商品を改造したり、ゆるみ・破損がある状況で使用しないでください。
- ・この説明書を大切に保管してください。
- ・モルタル天板は素材の特性上、細かなヒビ・キズがある場合がございます。予めご了承ください。
また、落下させるとヒビ割れが発生する可能性がありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

クリーニングとメンテナンス

- ・簡単な汚れは、乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は水拭きしてから水気の残らないように柔らかい布で乾拭きしてください。酸やアルカリの強い洗剤、薬品は使用しないでください。
- ・定期的にネジにゆるみがないか点検してください。ゆるんだままの使用は大変危険です。
また移動した場合も必ず点検してください。